

飲酒運転で失うものは計り知れません。  
運転免許の取り消しや高額な罰金、職を失う可能性、家庭環境の変化など経済面や生活面での大きなリスクがあるほか、重大な事故を起こせば、人生懸けても償うことができないほどの責任を負うこととなります。  
飲酒運転は、絶対にやめましょう！！

## 飲酒運転が及ぼす代償

### 経済面での代償！！

- ◎飲酒運転で捕まると……  
5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
- ◎飲酒運転で死亡事故を起こした場合……  
最大で懲役20年
- ◎被害補償……  
死亡事故の場合3,000万円以上



### 生活面での代償！！

- ◎職を失う可能性があります。
- ◎家族関係や友人関係が崩壊する可能性があります。
- ◎運転免許がないので、行動範囲が制限されます。
- ◎逮捕されると、新聞やテレビ等に報道される可能性があります。
- ◎刑務所に収監されることがあります。



### 時間面での代償！！

- ◎飲酒運転などで免許を取り消されると  
最大で10年間、運転免許を取得することができません。
- ◎再び、自動車学校に入校しなければなりません。  
入校期間：約1ヶ月、取得費用：平均35万円



## それでも飲酒運転しますか？

「飲酒運転をしない させない 許さない」  
ことを家族、友人、職場で注意し合い、沖縄県から飲酒運転による悲惨な交通事故がなくなるよう、御協力をお願いします。



沖縄県警察

飲酒運転による重大事故が発生し大きな社会問題となりました。飲酒運転厳罰化などにより飲酒運転事故は年々減少しているものの、当県では、依然として飲酒運転による悲惨な事故は後を絶ちません。

飲酒運転は、極めて悪質・危険な犯罪です。

一人一人が「飲酒運転をしない させない 許さない」という強い意志を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。

飲酒運転には、次のような罰則があります。

## 飲酒運転の罰則

### 運転者本人に対する罰則!!

酒酔い運転 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金

酒気帯び運転 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

飲酒検知拒否 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

### 運転者以外にも厳しい罰則が!!



飲酒運転するおそれのある者に車両を提供した場合 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金

飲酒運転するおそれのある者に酒類を提供した場合 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

運転者が酒気を帯びていることを知りながら、車両に乗せてくれるように要求・依頼して同乗 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

飲酒運転で検挙された者に対しアンケート調査を実施したところ、飲酒運転した理由は、「飲酒量が少量でその程度は大丈夫と思った」が約3割で、出勤時間帯(06:00~10:00)に検挙された者は、約2割を占めます。

つまり、アルコールは思っているよりも身体に残ってしまうのです。

翌日に車を運転する予定があれば、アルコールの分解時間を考慮し節度ある飲酒に心がけましょう。

長時間飲酒した場合や、多量に飲酒した場合は、車の運転は控えましょう!!

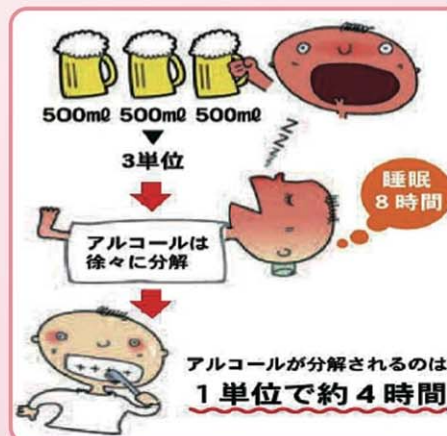
## アルコールの知識

### アルコールの単位、処理にかかる時間

覚えてください! アルコール1単位=純アルコール20gを含む酒量

ビール	1単位	チューハイ	1単位	泡盛	1単位
	500ml		350ml		100ml (コップ半分)
	アルコール度 5%		アルコール度 7%		アルコール度 25%

### \*\*\*\*\* アルコールの処理にかかる時間 \*\*\*\*\*



体内でのアルコールの処理は体重1kgにつき、1時間で0.1グラムという速度です。たとえば体重60kgの人が1単位処理するには3~4時間かかります。体重60kgの人が飲酒して8時間後に勤務したとします。2単位ならアルコールは検出されませんが、3単位だと...? 検出されることとなりますね。

これはあくまでも目安です。日頃飲みすぎがたたって肝臓が弱っていたり、風薬を飲んでいたりしたら、アルコールの処理はもっと時間がかかるかもしれません。

つまり、**3単位×4時間=12時間**  
まだ体内には約1単位分のアルコールが残った状態なのです。